



## Click to Call 用の Cisco Unified Communications Manager の設定

- 「Cisco Unified Communications Manager での Cisco WebDialer のアクティブ化」 (P.2-1)
- 「Cisco WebDialer が実行中か確認」 (P.2-2)
- 「CTI マネージャが Cisco Unified Communications Manager で実行中か確認」 (P.2-2)
- 「CCMCIP サービスが Cisco Unified Communications Manager で実行中か確認」 (P.2-3)
- 「正しい電話デバイスがユーザに関連付けられているか確認」 (P.2-3)
- 「アプリケーション ダイアル規則の設定方法」 (P.2-4)
- 「Cisco Unified Communications Manager へのプロキシ アクセスの設定方法」 (P.2-6)

## Cisco Unified Communications Manager での Cisco WebDialer のアクティブ化



(注)

Click to Call アプリケーションでは、SOAP インターフェイスを使用して、Cisco Unified Communications Manager で WebDialer サブレットと対話します。Click to Call アプリケーションでは HTTP インターフェイスは使用されないため、アプリケーションは Redirector サブレットとは対話しません。

### 手順

- ステップ 1** [Cisco Unified サービスアビリティ (Cisco Unified Serviceability) ] > [Tools] > [Service Activation] を選択します。
- ステップ 2** [server] ドロップダウン リストから Cisco Unified Communications Manager サーバを選択します。
- ステップ 3** [CTI Services] で、[Cisco WebDialer Web Service] にチェックマークを付けます。
- ステップ 4** [Save] を選択します。

### 次の作業

- 「Cisco WebDialer が実行中か確認」 (P.2-2)

## Cisco WebDialer が実行中か確認

### 手順

- 
- ステップ 1** ブラウザを開始します。
- ステップ 2** Cisco Unified Communications Manager サーバの WebDialer の URL にアクセスします。  
 次のような構成の URL にアクセスできます。  
 https://<Cisco Unified Communications Manager サーバの IP アドレス>/webdialer/Webdialer  
 たとえば、以下の URL にアクセスできます。  
 https://209.165.200.225/webdialer/Webdialer  
 [Cisco WebDialer にログインします (Sign in to Cisco WebDialer) ] ウィンドウが表示されたら、  
 WebDialer サービスは実行中です。



### ヒント

---

WebDialer サービスにログインすると、サービスのテストを行えます。どのデバイスが自分に割り当てられていて、電話をかけているのかがわかります。

---

### 次の作業

- 「CTI マネージャが Cisco Unified Communications Manager で実行中か確認」 (P.2-2)

## CTI マネージャが Cisco Unified Communications Manager で実行中か確認

Click to Call が適切に機能するには、Cisco Unified Communications Manager で CTI マネージャが実行されている必要があります。

### 手順

- 
- ステップ 1** [Cisco Unified サービスアビリティ (Cisco Unified Serviceability) ] > [Tools] > [Control Center - Feature Services] を選択します。
- ステップ 2** [server] ドロップダウン リストから Cisco Unified Communications Manager サーバを選択します。
- ステップ 3** [CM Services] で、**Cisco CTIManager** が実行中であることを確認します。
- 

### 次の作業

- 「CCMCIP サービスが Cisco Unified Communications Manager で実行中か確認」 (P.2-3)

# CCMCIP サービスが Cisco Unified Communications Manager で実行中か確認

Click to Call では、CCMCIP (Cisco CallManager Cisco IP Phone Services) サービスからユーザの電話機タイプが取得され、Click to Call アプリケーションの電話機設定画面に電話機タイプが表示されます。CCMCIP サービスは Cisco Unified Communications Manager Release 6.x 以降でのみ稼動するため、この手順は、Cisco Unified Communications Manager の本リリースを実行している場合に適用されます。

## 手順

- ステップ 1 [Cisco Unified サービスアビリティ (Cisco Unified Serviceability) ] > [Tools] > [Control Center - Network Services] を選択します。
- ステップ 2 [server] ドロップダウン リストから Cisco Unified Communications Manager サーバを選択します。
- ステップ 3 [CM Services] で、**Cisco CallManager Cisco IP Phone Services** が実行中であることを確認します。

## 次の作業

- 「正しい電話デバイスがユーザに関連付けられているか確認」(P.2-3)

# 正しい電話デバイスがユーザに関連付けられているか確認

Cisco Unified Communications Manager で正しい電話デバイスがユーザに関連付けられていることを確認する必要があります。Cisco Unified Communications Manager で電話デバイスがユーザに正しく関連付けられていないと、その電話機は、Click to Call アプリケーションの電話機設定画面に表示されません。

## 手順

- ステップ 1 [Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified CM Administration) ] > [ユーザ管理 (User Management) ] > [エンドユーザ (End User) ] を選択します。
- ステップ 2 [検索 (Find) ] を選択します。
- ステップ 3 適切なユーザ ID を選択します。
- ステップ 4 [デバイスの割り当て (Device Association) ] セクションで、[制御するデバイス (Controlled Devices) ] ウィンドウに正しいデバイスが表示されていることを確認します。



(注)

電話デバイスにユーザを関連付ける必要がある場合は、[デバイスの割り当て (Device Association) ] を選択します。詳細については、Cisco Unified Communications Manager のオンライン ヘルプを参照してください。

## 次の作業

- 「アプリケーション ダイアル規則の設定方法」(P.2-4)

## アプリケーション ダイアル規則の設定方法

ユーザがダイヤルする電話番号から自動的に数字を削除したり、電話番号に数字を追加したりするアプリケーション（Cisco WebDialer など）のダイヤル規則を設定できます。たとえば、ダイヤル規則を使用して、電話番号の先頭に数字を自動的に追加して、外線に接続することができます。

アプリケーション ダイアル規則は、Cisco Unified Communications Manager の [Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified CM Administration)] > [コール ルーティング (Call Routing)] > [ダイヤル ルール (Dial Rules)] > [アプリケーション ダイアル ルール (Application Dial Rules)] から設定します。



(注)

Click to Call アプリケーションは、Cisco Unified Communications Manager の 6.x 以前のリリースではアプリケーション ダイアル規則を使用できません。Click to Call アプリケーションでアプリケーション ダイアル規則を使用するには、Cisco Unified Communications Manager を 6.x 以降にアップグレードしてください。

ここでは、アプリケーション ダイアル規則について簡単に説明します。Cisco Unified Communications Manager でのアプリケーション ダイアル規則の設定方法の詳細については、次の資料を参照してください。

- 次の URL にある『*Cisco Unified Communications Manager Administration Guide*』の「Application Dial Rules Configuration」のセクション。  
[http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps556/prod\\_maintenance\\_guides\\_list.html](http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps556/prod_maintenance_guides_list.html)
- 次の URL にある『*Cisco Unified Communications Manager Solution Reference Network Design*』の「Dial Plans」のセクション。  
[http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps556/products\\_implementation\\_design\\_guides\\_list.html](http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps556/products_implementation_design_guides_list.html)
- 「サンプルのアプリケーション ダイアル プラン」(P.2-4)
- 「Cisco Unified Communications Manager でアプリケーション ダイアル規則を自動的に使用するよう Cisco WebDialer を設定」(P.2-6)

## サンプルのアプリケーション ダイアル プラン

表 2-1 に、企業のテレフォニー システム用のオフネットの市内、国内、および国際ダイヤリングのための基本的なアプリケーション ダイアル プランを示します。



(注)

Cisco Unified Communications Manager Release 7.x では、国際ダイヤル アクセス コードを表すために、「+」記号を含むアプリケーション ダイアル規則がサポートされるようになりました。

表 2-1 サンプルのアプリケーション ダイアル規則

名前 / 説明	開始番号 (Number Begins With)	桁数 (Number Begins With)	削除する合計桁数 (Total Digits to be Removed)	プレフィックス パターン (Prefix with Pattern)
国際 12 桁	+	12	1	9011
国際 13 桁	+	13	1	9011
国際 14 桁	+	14	1	9011
国際 15 桁	+	15	1	9011
市内 7 桁 XXX-XXXX		7		9
市内 10 桁 (510) XXX-XXXX	510	10	3	9
国内 10 桁 (XXX) XXX-XXXX		10	0	91
国内 11 桁 1(XXX) XXX-XXXX		11		9

表 2-1 のサンプルのアプリケーション ダイアル プランでは、9 は外部ダイヤル用のオフネット アクセス コードを表します。国内通話では、市内番号または国内（長距離）番号のいずれかに発信するために、オフネット アクセス コードに適切な桁数を追加します。それぞれの国際ダイヤル規則では、「+」を、オフネット アクセス コードと適切な国際ダイヤル アクセス コードで置き換えます。

次のアプリケーション ダイアル規則が、表 2-1 で設定されます。

- 任意の国際番号。アプリケーション ダイアル規則では、番号から「+」が削除され、オフネット アクセス コード 9 と国際ダイヤル アクセス コード 011 が残りの数字の先頭に追加されます。
- 任意の 7 桁の市内番号。アプリケーション ダイアル規則では、オフネット アクセス コード 9 が先頭に追加されます。
- 510 で始まる任意の 10 桁の市内番号。アプリケーション ダイアル規則では、番号から 510 が削除され、オフネット アクセス コード 9 が残りの数字の先頭に追加されます。
- 任意の 10 桁の国内番号。アプリケーション ダイアル規則では、数字 91 が先頭に追加されます。
- 1 で始まる任意の 11 桁の国内番号。アプリケーション ダイアル規則では、オフネット アクセス コード 9 が先頭に追加されます。

[ 開始番号 (Number Begins With) ] フィールドが空白の場合は、ダイヤル規則に開始番号の数字を任意に適用できます。たとえば、最初の数字が 1、1408、または 1408526 で始まる場合は、それぞれ着信番号 14085264000 と一致します。

アプリケーション ダイアル規則リストは、優先順位の順に設定する必要があります。Cisco Unified Communications Manager では、ダイヤル規則リストで着信番号を検索する最初のダイヤル規則の一致が適用され、リスト中の最適な一致の検索は試行されません。たとえば、次に示すダイヤル規則条件を設定した場合、着信番号 14085264000 の受信時に、Cisco Unified Communications Manager では、ダイヤル規則 1 は無視され、ダイヤル規則 2 が適用されます。これは、ダイヤル規則 2 が最初の一致であるためです。ダイヤル規則 3 が最適な一致ですが、最初の一致の検索後、Cisco Unified Communications Manager ではリスト内の後続の規則はすべて無視されます。

1. 先頭が 9 で、長さが 8 桁の場合は、X を行います。
2. 先頭が 1 で、長さが 11 桁の場合は、Y を行います。
3. 先頭が 1408 で、長さが 11 桁の場合は、Z を行います。



(注)

また、Cisco Unified Communications Manager で電話帳の検索ルールを設定することもできます。電話帳の検索ルールによって、ユーザがダイヤルする番号が電話番号に変換されます。詳細については、次の URL にある『Cisco Unified Communications Manager Administration Guide』を参照してください。

[http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps556/prod\\_maintenance\\_guides\\_list.html](http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps556/prod_maintenance_guides_list.html)

#### 関連トピック

- 「Cisco Unified Communications Manager でアプリケーションダイヤル規則を自動的に使用するよう Cisco WebDialer を設定」 (P.2-6)
- 「[ダイヤル規則 (Dialing Rule)] タブの非アクティブ化」 (P.4-2)

## Cisco Unified Communications Manager でアプリケーションダイヤル規則を自動的に使用するよう Cisco WebDialer を設定

Cisco Unified Communications Manager で設定したアプリケーションダイヤル規則を自動的に適用するよう Cisco WebDialer サービスを設定できます。

#### 手順

- ステップ 1** [Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified CM Administration)] > [システム (System)] > [サービスパラメータ (Service Parameters)] を選択します。
- ステップ 2** [サーバ (server)] メニューから Cisco Unified Communications Manager サーバを選択します。
- ステップ 3** [サーバ (server)] メニューから [Cisco WebDialer Web Service] を選択します。
- ステップ 4** Apply Application Dial Rules on Dial パラメータの [はい (True)] を選択します。
- ステップ 5** Apply Application Dial Rules on SOAP Dial パラメータの [はい (True)] を選択します。
- ステップ 6** Cisco WebDialer サービスを再起動します。

#### 関連トピック

- 「サンプルのアプリケーションダイヤルプラン」 (P.2-4)

#### 次の作業

- 「Cisco Unified Communications Manager サーバアドレスとユーザ名の自動的な入力」 (P.3-1)

## Cisco Unified Communications Manager へのプロキシアクセスの設定方法

Click to Call では、クライアント コンピュータ用に設定されたシステム プロキシ設定を使用して、Cisco Unified Communications Manager にアクセスします。プロキシサーバを使用するようにコンピュータが設定されている場合、プロキシ設定によってユーザは Cisco Unified Communications Manager に接続できない可能性があります。

- 「プロキシ サーバのバイパス」 (P.2-7)
- 「プロキシ サーバ アクセスの設定」 (P.2-7)

## プロキシ サーバのバイパス

### 手順

- 
- ステップ 1** [スタート (Start)] > [コントロール パネル (Control Panel)] > [インターネット オプション (Internet Options)] を選択します。
  - ステップ 2** [接続 (Connections)] タブを選択し、[LAN の設定 (LAN Settings)] を選択します。
  - ステップ 3** [ローカル アドレスにはプロキシ サーバを使用しない (Bypass proxy server for local addresses)] を選択します。
  - ステップ 4** [詳細設定 (Advanced)] を選択します。
  - ステップ 5** [例外 (Exceptions)] フィールドに Cisco Unified Communications Manager サーバの IP アドレスまたはホスト名を入力します。
  - ステップ 6** [OK] を選択します。
- 

### 関連トピック

- 「プロキシ サーバ アクセスの設定」 (P.2-7)

## プロキシ サーバ アクセスの設定

Click to Call では次のようにプロキシ サーバ アクセスをサポートします。

- プロキシ サーバが、匿名接続を許可するようになっている場合、Click to Call は Cisco Unified Communications Manager に正常に接続できます。ユーザはこれ以上操作する必要はありません。
- プロキシ サーバが基本またはダイジェストのプロキシ認証を使用するようになっている場合、Click to Call は Internet Explorer または Windows の資格情報を使用して、プロキシ サーバを認証します。電話をかけた後で、Internet Explorer またはユーザ資格情報の入力を求めるポップアップダイアログに資格情報を入力する際、今後の使用のために資格情報を記憶させることができます。
- プロキシ サーバが、NTLM 認証を使用するようになっている場合、Click to Call は Cisco Unified Communications Manager に正常に接続できます。ユーザはこれ以上操作する必要はありません。この状況では、Click to Call は Microsoft ベースのプロキシ サーバでのみ稼働します。



(注) Click to Call は、HTTPS を使用して SSL トンネル経由で Cisco Unified Communications Manager と通信します。すべてのプロキシ サーバ アクセスに対して、ポート 8443 を使用した SSL トンネルを許可するようにプロキシ サーバを設定する必要があります。

### 関連トピック

- 「プロキシ サーバのバイパス」 (P.2-7)

